

# ニーズ調査について

---

第2回子ども・子育て協議会

# 1 調査の目的

- 「山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料
- 子ども・子育て支援法に基づく「幼児期の学校教育」・「保育」・「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を算出するための基礎資料

- 「幼児期の学校教育」とは・・・幼稚園、(認定こども園)
- 「保育」とは・・・保育園、(認定こども園)、認可外保育所など
- 「地域子ども・子育て支援事業」とは・・・一時預かり、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンター、子育て支援センターなど
- 「量の見込み」とは・・・ニーズ調査結果に基づき、各事業の「現在の利用状況」+「今後の利用希望」から算出した今後の事業量の見込み。(必要定員数や必要サービス量)

## 2 調査の概要

下記の区分のとおり、2種類の調査を実施する。

区分	調査件数	想定回収率	調査方法
就学前児童の保護者	1,000件	55%	郵送による送付、回収
小学生の保護者	1,000件	55%	

### 3 スケジュール

業務内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査票検討							
ニーズ調査実施(予定)							
調査結果集計、取りまとめ							
「量の見込み」検討、算出							
子ども・子育て協議会	●				●		●

# 4 調査票作成のポイント

## 基本的事項

- 国作成の調査票ひな型を基本として作成。
- 国が全国共通の必須項目として「量の見込みの推計上必要な項目」を設定（資料2に記載）
- 必須項目以外は必要に応じて独自項目の追加や絞り込みが可能。

## 山陽小野田市版の考え方

- 調査票ひな型の質問数が多くボリュームがあるため、回収率の低下や不正確な回答が想定される。
  - できる限り項目数を減らす。
  - レイアウトの工夫やイラストを挿入することによって、回答しやすさに配慮する。
- 予定している追加項目は資料2のとおり。ファミリーサポートセンターや子育て支援サービスの要望など、今後の行政サービスの基礎資料とすることを目的。ただし最小限とする。
- 小学生調査は任意であるが、児童クラブのニーズ等を正確に把握するために実施する。